**深山北山のpureな紅葉　と　古代からの存続性（不思議な力）を尋ねて**

**≪尋ね先のポイントダイジェスト≫**

**1、上賀茂神社**

* 正式名称「賀茂別雷神社（かもわけいかづちじんじゃ）」、神代の時代から信仰深い。
* 上賀茂神社（賀茂別雷神社）は下鴨神社（賀茂御祖神社）と共に、賀茂氏の氏神を祀る神社で、葵祭は両社共同で実施されている。
* 二の鳥居をくぐると、目の前に円錐形の立砂（たてずな）が二つ並んでいて、強いパワーがあるとの話。
* バス停そばには、名物のお菓子、「やきもち」。

**２、社家の町並み**

* 紅葉のど真ん中。

**３、大田神社**

* 上賀茂神社の境外摂社。古くは「恩多社」。
* 境内は楓が多く紅一色に染まり、独り占めの気分は爽快。
* 東側には今も約2千平方m2の沼沢地が残り「大田の沢」と呼ばれている。この沢には古代より野生のかきつばたが美しく群生。
* 平安時代の『千載和歌集』の編者・藤原俊成の歌。 『神山や大田の沢のかきつばた　ふかきたのみは　色にみゆらむ』

**4、深泥池**（みぞろがいけ）

* 京都盆地の北にある周囲1．5km，面積9haの小さな池。
* 氷河期以来の動植物が今も生き続け、多くの水生植物，昆虫，魚類，野鳥等、国の天然記念物に指定。
* 深泥池の不思議の一つに浮島。池の中央に広がり，池全体の1/3の面積。この島の下には水の層、浮いている。その上にミズゴケや種々の植物が生育。島は季節により上下に変動。夏には浮かび上り，冬は沈んで冠水---不思議な現象。
* 全国屈指の心霊スポット。池の底が何層にもなっている“底なし沼”。

**5、京都府立植物園**

* 日本の代表的な植物園といわれ、1924年（大正13）の開園。総面積約24万 平方メートル、収集栽培植物は約1万2000種類。

**6、下賀茂神社**

* 正式名称「賀茂御祖神社（かもみおやじんじゃ）」、
* 京都市内を流れる鴨川と高野川に囲まれ た三角地帯に位置。
* 下鴨神社の楼門のそばに相生社という縁結びの社があり 人気を集めている。
* 京の七不思議の一つ「連理の賢木」があり、強いパワーがあるとの話。
* 糺の森は、「関西ラグビー発症の地」として知られる。1910年に三高（京都大学の前身）の学生が初めてラグビーボールを蹴ったので、

「第一蹴の地」の石碑が建っている。（藤村追記）